



化学物質情報シート

2018年1.0版

BISPHENOL-A (BPA)

ビスフェノール A (BPA)

その他の名称：4,4'-(1-メチルエチリデン)ビスフェノール
2,2-ビス(4-ヒドロキシフェニル)プロパン など

CAS 番号	物質	日本語名
80-05-7	Bisphenol-A	ビスフェノール A

しばしば見つかる場所

- ・ポリカーボネート製ボトル
- ・食品、飲料のカン
- ・感熱紙
- ・保存容器
- ・プラスチック製サングラス
- ・耐衝撃性安全具
- ・接着剤、コーティング、装飾品

ビスフェノール A (BPA) は、プラスチックや樹脂を作るため、他の化学品と共に使われる前駆物質です。通常、プラスチックを硬くするために使われます。

サプライチェーンにおける使用

ビスフェノール A (BPA) は、純粋な状態では白いフレーク状で、かすかにフェノールのような臭いがします。ポリカーボネートプラスチックや、エポキシ樹脂の生産に使われます。ポリカーボネートプラスチックは、その耐久性、透明性、耐破砕性などから、さまざまなタイプの製品に使われており、医療装置や光学用レンズでは、重要な構成要素となっています。（*1）エポキシ樹脂は、食品や飲料のカンの内側のさび、腐食防止に使われています。BPA は、感熱紙（一般的にキャッシュレジスターのレシートなど）の染料の開発に使われることでも知られています。（*2）

その他にも、BPA は難燃加工や、PVC の生産や加工にも使われます。

なぜビスフェノール A(BPA)が制限されるのか

- ・ EU,アメリカ,アジアの多くの国で、乳児用哺乳瓶などの乳幼児用品で BPA の使用が規制されています。
- ・ 人間への BPA の曝露が広がっています。2003-04 年に国民健康調査が行われ、6 歳以上のアメリカ人のうち 93%が BPA 検出可能なレベルでした。（*3）
- ・ BPA は内分泌攪乱物質であり、代謝変化、循環器系疾患、生殖系系への影響などを含みリスクに関連があります。（*4）
- ・ 生産レベルでは、人間への曝露は吸入または皮膚接触により起こります。
- ・ 消費者レベルでは、BPA の被ばくは、容器の内側や、BPA を含んだプラスチックで作られた容器から、食品や飲料に移ることで起こります。それ以外にも、BPA を含んだ歯の詰め物や、感熱紙に触れることでも被ばくします。

サプライヤーからの 基準をみたした材料の仕入れについて

- サプライヤーに対し、口腔への接触があることを意図して使われるもの（例えば食品、飲料容器）は、ビスフェノールA(BPA)の含有量が1ppmを超えてはいけないことを説明してください。（*5）
- 食品や飲料の容器や、サングラスなどの耐久性プラスチックなどのポリカーボネートプラスチックのサプライヤーには、とくに注意するようにしてください。
- この情報シートを材料サプライヤーと共有し、次の項にあるガイダンスを使い、ビスフェノールA(BPA)へ対応した化学品を仕入れるために、彼らの化学品のサプライヤーに指導するようにしてください。
- サプライヤーに対し、彼らが生産した材料がBPAの制限1ppm未満、に合っていることの証明をもらってください。また、もし必要ならば、外部の試験機関によるテスト報告書を提出してもらってください。
- サプライヤーからの材料が、BPAが1ppmの制限値を超えて含まれていないかを確認するために、外部の試験機関へサンプルを提出し、リスク評価を行ってください。

化学物質サプライヤーからの 基準をみたした化学品の仕入れについて

- 化学品のサプライヤーに対し、貴社が意図的にはBPAを添加していない配合品を求めていることを説明してください。
- 全ての化学品の配合の安全データシートSDSをチェックし、BPAが含まれないことを確認してください。
- 外部の試験機関へサンプルを提出し、化学品サプライヤーからの配合品がBPAを含んでいないかのリスク評価を行ってください。
- 下記に記載の、より安全な代替品が、貴社の生産ニーズに合うかどうかを、化学品のサプライヤーと話し合ってください。

より安全な代替品

- BPAを含んだポリカーボネートで作られたボトルや容器は、同様の危険性を持たない他のポリマーから作ることも可能です。ポリエチレン、ポリプロピレン、ポリエステル、ポリアミドなどの他のプラスチック材料や、ガラスやステンレススチールなども代替品になり得ます。

追加情報

- ECHAの高懸念物質候補リストにおいて、多くの制限物質を確認してみてください。

<https://echa.europa.eu/candidate-list-table>

参考資料

(*1) Bisphenol-A in Polycarbonates. (n.d.). Retrieved February 07, 2017, from

<http://www.bisphenol-a-europe.org/what-is-bpa/>

(*2) Textile Exchange (January 2013). Chemical Snapshot: Bisphenol A (BPA).

(*3) National Institute of Environmental Health Sciences NIH-HHS (August 2010). National Toxicology Program: Bisphenol A (BPA) Factsheet.

(*4) Textile Exchange (January 2013). Chemical Snapshot: Bisphenol A (BPA)

(*5) Apparel and Footwear International RSL Management Group (Ed.). (2018, January 31). Restricted Substances List (RSL) Retrieved <http://afirm-group.com/afirm-rsl/>

(*6) Hohenstein Institute & Textile Exchange. *Chemical Snapshots – Bisphenol A (BPA)*. 3/17/2017, Revision 0.2. Links: www.hohenstein.com www.textileexchange.com

以上